

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



孤児院の機材を修理しています!(カンボジア)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。
9月になり、私の居住する北海道では、朝夕が冷え込みははじめ、すっかり秋らしくなってきました。
南半球の国々はこれから春を迎えていくのでしょうか。その南半球に位置するザンビア孤児院では、スタッフの桜子さんの子供さんたちが通う学校が急に閉鎖となり、その学校に通う子供さんたち約20名が、私共孤児院のセカンダリースクールに通うこととなりました。学校建設に際しては、当初難しいのでは、と思っていましたが、今となっては、学校があって本当に良かったと思っております。
私共の働きは孤児を助けることですが、結果的には、孤児以外の子供達をも助けることになり、この働きの重要性を再認識させられるばかりであります。
ただ、その子供達の受け入れの為の机等の備品の為に約30万円の必要があるとのこと。
必要といえば、カンボジア孤児院、フィリピン孤児院も同じ様に、切羽詰まった必要があります。
皆様の御支援によって子供達の命が支えられております。
是非、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。昨年9月から日本に1年間の語学留学をしていたNAが、8月末にカンボジアに戻ってきました。あつという間の1年間でしたが、日本語の学びと日本での生活が体験できた事もよかったようでした。私達は、若い大学生の女の子を1人送り出すにあたっていろいろ心配な事もありましたが、ご支援者の皆さまにもお会いする機会があったり、沢山の方々からいろいろな助けを頂くことができ心から感謝しています。本当にありがとうございました。NAはこれから1年間、大学に戻り4年生で学ぶ予定になっています。12年生(高校3年)の2人NとSは、10月始め頃に高校最後の卒業試験を受ける予定です。次回は、その結果をお伝え出来ることと思っています。他の子ども達も1年間の学びを終えつつあります。学校によっては異なりますが、新学期を迎えるまでの1ヶ月前後の休みがありますので、今年もこの休みの間に子ども達と出掛ける遠出の計画をスタッフ達と話し合っています。その為に400ドほどが必要ですので、ご支援頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。



無事に戻って来たNA(写真右)と空港で1年振りに再会した子どもたち

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピン子どもたちに対する皆様のご支援ご協力を心から感謝致します。

8月は子どもたちにとって忙しい月でした。

言語と文化月間(フィリピンの言葉と文化を学ぶ)の行事に向けて、毎日放課後、民族舞踊の練習、コスチュームや小道具の製作に励みました。9月にはまた別の学校行事があり、その費用も学校へ納める必要があります。

皆様のご支援によって、今学期の学校への支払いの一部、2713ドルを送って頂く事が出来ました。皆様の暖かいご支援を心から感謝致します。

さらに32名分の学校への支払いの残りと学用品費合計5451.90ドルのために皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

また就学支援生がいる各地域、特に山岳部を回ってサポートするために、今年こそは車を購入したいと切に願っています。このためにも皆様の暖かいご支援ご協力を頂ければ幸いです。



8月は言語と文化月間の行事がありました

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます!ザンビアは干ばつの影響で、干上がったダムからの水力発電が完全にシャットダウンしました。現在は他国から輸入した電力で賄われているようで、1日1時間だけ電気が来ますが、スラムなど、私たちの学校がある地域では4日間~1週間停電が続いています。停電のためにパン屋さんもパンを焼けずにいて、給食のパンが手に入らないか、40%以上の値上げしたものを買わざるを得ないようになりました。このように、電気料金や、水道料金の値上げが進み、生活の隅々にまで影響が出て、非常に苦しい日々が続いています。幸いオフィスを兼ねた我が家では、皆様にご支援を頂き、ソーラーパネルを購入できた事により、水の確保や冷蔵庫の使用ができるようになりました。本当に感謝申し上げます。しかしながら、制服が洗えない、身体が汚れているなどの理由で学校を休む子どもたちが現れるようになりました。今後は衛生の悪化によるコレラ、赤痢等が発生しないように十分な注意が必要になります。



皆で壁画を描きました

松本弘子さんのイラスト



地域の井戸から水を汲み上げるザンビアの子供たち